

令和 8 年 3 月 5 日
水管理・国土保全局 河川計画課
河川環境課
防災課

第 2 回「NIPPON 防災資産」の深化を考える会を開催します ～行動変容につながる NIPPON 防災資産と流域治水の実践的連携～

内閣府及び国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを「NIPPON 防災資産」として認定する制度を、令和 6 年 5 月に創設し、これまで 32 件（優良認定：17 件、認定：15 件）の認定を行いました。

このたび、「水災害」を対象とする認定団体とこれに関連する流域治水協議会の実務担当者にお集まりいただき、**第 2 回「NIPPON 防災資産」の深化を考える会を開催**します。流域治水を進めるためには災害を自分事化し行動変容につなげることが重要であることから、この会を通じて、行動変容につながる実践的な連携方法について意見交換し、地域の防災力向上に繋げていきます。

1. 第 2 回「NIPPON 防災資産」の深化を考える会

1) 日 時 令和 8 年 3 月 12 日（木）14 時 00 分～16 時 30 分

※参加者は別紙①のとおり。

閉会後の 16 時 30 分～16 時 45 分の時間帯に会場参加者へ
直接取材いただくことも可能です。

WEB 参加者への取材はできません。

2) 場 所 広島市豪雨災害伝承館 1 階研修室（施設入口は 2 階）

（広島市安佐南区八木三丁目 24 番 23 号）※詳細は別紙②のとおり。



ロゴマーク

2. 取材について

1) 考える会は非公開で行いますが、報道関係者に限り、意見交換会の冒頭あいさつまで、及び閉会あいさつ（16:15 頃を予定）以降の時間帯にて現地取材・カメラ撮りが可能です。

撮影・取材を希望される報道関係者の方は、3 月 10 日（火）16 時まで、
取材登録フォームにて必ずお申し込みください。

取材登録フォーム URL：<https://form.run/@shinmka2-shuzai>

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

2) 取材に際しては、現地担当者の指示に従ってください。

3) 当日は下記の時間までに、広島市豪雨災害伝承館入口（2 階）の報道受付
までお越しください。

・冒頭あいさつまでの取材を希望 : 13 時 30 分受付開始

・閉会あいさつ以降の取材を希望 : 16 時 00 分受付開始

4) 駐車場はございますが、台数に限りがありますのでご了承ください。

5) 議事要旨は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載予定です。

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>



取材登録フォーム

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室

課長補佐 藤岡、水防企画係長 小川

代表：03-5253-8111（内線 35454、35456）、直通：03-5253-8460



第2回「NIPPON防災資産」の深化を考える会 参加団体

別紙①



No.	名称（一部略）	活動拠点	対象災害	関係する流域治水協議会
1	えちごせきかわ 大したもん蛇まつり※	新潟県 関川村	S42.8 羽越水害	荒川流域治水協議会※
2	和歌山県 土砂災害啓発センター	和歌山県 那智勝浦町	H23水害	和歌山県※ (二級河川那智川水系)
3	広島市豪雨災害伝承館 (坂町自然災害伝承公園)	広島県 広島市	H26.8豪雨	太田川流域治水協議会 広島県西ブロック流域治水協議会
4	信濃川大河津資料館	新潟県 燕市	水害	信濃川流域治水協議会
5	福知山市治水記念館	京都府 福知山市	S28.9 台風13号等	由良川流域治水協議会
6	乙亥会館災害伝承展示室※	愛媛県 西予市	H30.7豪雨	肱川流域治水協議会※

※WEB参加

平成26年8月豪雨とは…

平成26年(2014年)8月20日未明に、広島市安佐南区などで、死者77人(災害関連死含む)の人的被害と、住家全壊179棟、道路・橋梁・河川堤防1079件の物的被害をもたらした豪雨災害。



あのつらい思いを
子や孫たち、そして
すべての人々に
二度と経験してほしくない。
またもし災害が起きても
犠牲者が一人も出てほしくない。

次世代にいのちをつなぐために…
あの災害を語り継ぎたい
防災・減災の想いをつなぎたい…



ACCESS

- お車でお越しの方
 - 【車】山陽自動車道 広島インターから約10分
 - 【駐車場】普通車／身体障害者用／バス:要予約
- 公共交通機関でお越しの方
 - 【J R】可部線 梅林駅から徒歩約7分(約550m)
 - 【バス】八木梅林バス停から徒歩約7分(約550m)
- タクシーご利用の方
 - 【タクシー】JR可部線 緑井駅から約12分

第1回「NIPPON防災資産」優良認定



内閣府及び国土交通省は、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを「NIPPON 防災資産」として認定する制度を2024年9月に創設しました。当館は第1回「NIPPON 防災資産」の優良認定を受けました。

■全日本建設技術協会 令和5年度全建賞受賞

広島市豪雨災害伝承館

所在地	〒731-0101 広島市安佐南区八木三丁目24番23号		
電話	082-832-0091	FAX	082-832-0095
開館時間	10:00~17:00	メール	info@bairin-cr.jp
休館日	月曜日、祝・休日の翌日(直後の土曜日、日曜日、祝・休日でない日) 8月6日、年末年始		

<https://trdmc.jp>



HP

©2014.8.20

団体でのご来館はご予約ください。

内容・時間配分などをご相談ください。

— ご来館・研修の一例 —

- ガイダンス(災害概要・復興経緯など) …………… 20分
- 2F展示・観覧 …………… 20分
- 2F展示・ガイド付き観覧 …………… 30分
- 館内ご案内 …………… 30分
- ★被災地案内 …………… 30~120分
- ★研修各種 …………… 45分~

※: ★については内容の打ち合わせが事前に必要です。



入館無料

広島市豪雨災害伝承館

見る

展示スペースの見学

- 土石流のCG映像を含めたガイダンス映像
- 被害の全容 (災害記録や2000点以上の被災写真など)
- 復旧・復興の状況
- 災害のメカニズム
- 復興のあゆみ



▲展示



▲展示



◀被災者の語り継ぎ映像

聴く

被災者による語り継ぎ

- 被災者のインタビュー映像・展示
- 語り部による伝承
- 被災者の体験談・ビデオ・映像

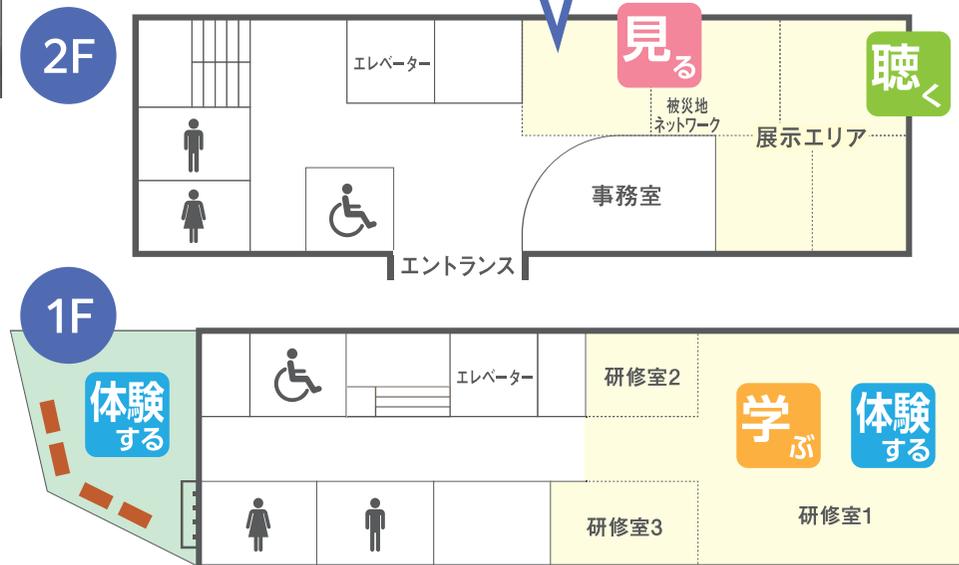
メッセージ

- ① 防災・減災の啓発 8.20広島豪雨災害からの「語り」
- ② 体系的 学術的な防災教育訓練の実施 防災減災の知識・技術を身につける
- ③ 被災地ネットワーク 被災地の教訓・知恵・技術の共有 (被災者だからできる) 復旧復興支援

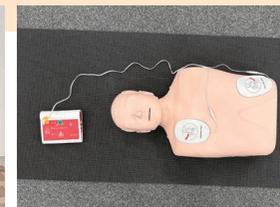
- 災害のガイダンス映像
- CGによる土石流の再現映像



▲エントランス



▲防災機材倉庫



▲AED研修機材

▼公園



▲かまどベンチ



▲研修室1



研修室3▶



最大120名収容の研修室にパーティションを外すと

体験する

訓練などの体験学習

- かまどベンチでの炊き出し訓練・防災東屋*を備えた隣接公園での訓練
- ※災害時にテントをかけて救護施設などに使用
- 被害の跡が残る場所や砂防施設の見学